

ネットワーク連絡会 会議要旨

日時：平成19年2月23日(金) 午後6時から8時
会場：しんじゅく多文化共生プラザ 多目的スペース
参加者：19人

～開会～

区：【本日の議事の進め方の確認】

～しんじゅく多文化共生プラザの実績報告について～

区：【プラザの利用人数や相談件数などを説明】

～平成18年度の活動報告について～

(1) プラザ1周年記念事業について

・事業全体について

区：【各種講座、パネル展の実績を報告】

ネットワーク団体の協力を得て開催しました。多くの方に様々な国の文化やことばなどへの理解を深める機会を提供することができました。

・ミャンマー講座より

A：参加者に非常に良い体験をしてもらいました。講座には31名の参加者がいました。

ミャンマーという国はあまり知られていない国なので、今回のような機会があったてよかったです。これからもこのような講座を行っていきたいと思います。

・タイ講座より

B：タイ文化紹介では、タイ人の先生を講師に迎え、歴史講座を行いました。自分自身も大変勉強になりました。

タイ舞踊では、専門大学を卒業した方に踊ってもらいました。

タイのティータイム講座では、タイの日常生活を撮影したスライドを鑑賞し、美味しいデザートを参加者全員でいただきました。

語学講座は、私自身が語学のプロなので教えるのは楽でした。参加者がどうだったかはわかりませんが...(笑)楽しみながらタイを身近に感じてもらえたので

はないかと思えます。

・韓国講座より

C：「座学よりも体験することが大事」だと思い、「韓国伝統茶の講座」を企画しました。原則としてプラザは飲食禁止ですが、文化紹介という趣旨を理解していただき、韓国茶を飲んだり菓子を食べたりすることを許可していただきました。「韓国語講座」においては、参加者はきっと1回の講座では全てを習得することはできなかつたと思えます。しかし、こうした一連の講座のおかげで、韓国のことを身近に感じられるようになったと思えます。今後もこうした体験型の講座ができるように、プラザも柔軟に対応していただければと思えます。

(2) 多文化防災訓練・防災カードについて

・防災訓練について

D：「人間尊重」と「命の大切さを守る」という目的と、「避難所の運営」について、日本人、外国人関係なく、多くの地域住民にまずは知っていただくことが大事だと考え、町会やあらゆる人々にご協力をお願いしました。外国籍の方にも避難所運営管理協議会の委員になっていただきました。

今回、訓練のテーマを「コミュニケーションを持とう」とし、防災訓練に加えて、各国のお菓子を食べながら交流をしたことは有意義だったと思えます。しかし住民の中には、交流よりも訓練を重視する方もいました。しかしながら、共生の場において外国人の方が参加することに大久保のまちの意義があると思えます。

区：【訓練の参加人数などを報告】

参加型、体験型の訓練を中心に行いました。

防災カードはネットワークの分科会の方々を中心に、作成していただきました。

E：【ネットワーク分科会の活動を報告】

訓練後の1月にも打ち合わせを行いました。各カードにイラストを挿入することやAEDに関する説明も追加した方がよいなどの意見が出ました。また、トリアージの説明などは専門用語があり、日本語自体が難しいので、やさしい日本語に変えようという意見も出ました。

また防災カードは、4月以降来日してくる留学生などを中心に、新年度に入っ
てすぐ配れるようにしたらよいと思えます。

区：多言語の表示物については、各避難所に置くことを想定しています。危機管理課とも協議しながら各施設に置けるようにしたいです。防災カード作成ソフトは国から各自治体に配られているので、今後は地域性を考慮して作成していきたい

です。まずは百人町、大久保から始めて、徐々に修正を加えていくことになると思います。

(3) 新宿文化・国際交流財団の事業について

財団：財団の事業は多岐にわたっているので、ポイントを押さえてご紹介します。

プラザがオープンして1年半となりますが、今まで約2万人、90ヶ国の人々が訪れ、交流し、学習しています。財団としては、多くの人々にとって足を運びやすいように、小さいことを積み上げています。

自分たち職員は黒子、あくまでも来訪者が主役と考えています。

プラザでは「日本語学習の支援」に力を入れています。そのために一緒に関わってくれるボランティアの育成を進めています。「ボランティア養成講座」や、現在活動をしているボランティアさんにさらに磨きをかけてもらうための「スキルアップ講座」などの一連の講座がそれに当たります。

また日本での生活に不安や悩みを抱えている外国人に「外国人相談窓口」を行っています。

なお、「外国の子どもたちの支援」については、財団としても重要な課題と考えています。現在、大久保小学校の学校便りの翻訳などを行っています。支援に関わるような人材養成も視野に入れていきます。

明日開催する国際交流区民のつどいの「ひなまつり」も紹介させていただきます。(チラシを配布)毎年2000~3000人の人々が訪れるイベントです。

また、情報提供として隔月にプラザニュースを発行し、プラザやプラザで開催する各種講座などの周知をしています。

E：プラザニュースはネットでも見られるのですか？

財団：見られるように対応を考えています。

(4) その他(分科会「ネットワークホームページ」の報告)

F：ネットワークのホームページがプラザ内のコンテンツとしてアップしました。

今後の発展のために多言語化へ向けた翻訳やページの作りこみなど、みなさんのご意見、ご協力をぜひいただきたいと考えています。

区：昨年10月に開催した「ふれあいフェスタ」にも多文化共生コーナーを設け、パネル展示とミャンマー文化の紹介、韓国料理販売等を行いました。また、新宿シティハーフマラソンでも同様にミャンマー文化の紹介、韓国料理の販売をしました。ご協力ありがとうございました。

～平成19年度の多文化共生事業について～

区：【来年度開催を予定している事業を説明】

昨年夏に「協働事業提案制度」において、企画提案され決定した「子どもの学習支援」について提案者のGさんからご説明いただきます。

(1) 外国人の子どもの学習支援等（協働事業提案制度）

G：この事業は、「NPO みんなのおうち」から提案したものです。この団体は、主に自然体験を通して家庭を支援していくことを目的とし、2年前に設立されました。新潟と東京にあるログハウスで支援活動を行っています。今回の事業では、「外国人の子どもへの学習支援」に加え、「自然体験ツアー」も行い、子どもの家族も含めて支援します。

「子どもの学習支援」では、具体的には、2ヶ所の会場で夜間利用の時間帯で学習支援を行い、それぞれ2時間の学習支援を行う予定です。

定員は2ヶ所の会場合わせて30名ほどを予定しています。

日本語が十分に話せないために学校の授業に遅れがちになってしまう区立小中学校に通う児童・生徒を前提に考えています。地域の小中学校など、事前に学校長と話をし、学校と連携してやっていこうと考えています。

専従職員については、公募しようと考えています。職員に対しては、5月20日、27日に5時間ずつ計10時間の事前研修を行う予定です。

学習支援は、子ども一人につき、週3回計6時間。具体的な支援は、6月にスタートして3月まで10ヶ月間を想定しています。協働事業提案制度は原則単年度事業のため、今後継続されるかどうかは区で検討されていくことと思います。

団体としては、教育委員会とも協働の形で進めていけたらいいなと思います。

今後は大久保児童館に夜の7時くらいから9時ごろまで子どもたちが集まることとなります。安全・安心という意味でも地域の方々が気軽に顔を出していただけるとうれしいです。良いコミュニケーションになるとと思います。

将来、新宿に永住するであろう子どもたちに、地域の方々のご協力をお願いします。

区：4月に募集、5月に研修を行います。ボランティアとして従事したい人、そして支援が必要な子どもたちをご存知であれば、お知らせいただくなど、ご協力をお願いいたします。

(2) 多文化共生実態調査

区：多文化共生をさらに進めるため、基礎データの収集を目的とした「多文化共生

実態調査」を実施します。実態調査は、平成 15 年度に初めて行ったが、今回は前回調査との比較検討を行うなど、変化を把握したいと考えています。

またインタビュー調査も予定していますが、ネットワークの団体のみなさまにもご協力をいただくこともあるかと思しますので、よろしくお願いいたします。

～ 意見交換 ～

E：新宿区の友好都市であるギリシャとの交流についてお聞きします。一昨年アテネオリンピックのときに八雲公園にギリシャの 1 等書記官が来ました。今後、そうした具体的な予定があれば教えていただきたい。そうした場合には公園の手入れもしなければならないし、土木課へ相談することも考えます。

区：現段階で具体的な予定はありません。具体的な話があったときには相談させていただきます。

D：地区協議会で提案があったのですが、外国人専用の掲示板を設けていただきたいです。職安通りと大久保通りに何箇所か設ければよいと思います。

外国語広報紙や生活情報紙は区役所や区施設だけではなく、職安通り、大久保通りの店舗等に設置するのもよいと思います。

区：現在も、区施設だけではなく、韓国人が多く集まる教会や韓国の食材店、新大久保商店街のお店などに置かせてもらっています。今後も効果的に外国人に情報が提供できるように考えていきたいと思っています。

B：残念ながら区にはタイ語の情報がありません。またタイ人の多くはインターネットが使えません。タイ語の翻訳も考えてほしいです。

E：来年度は防災訓練はやらないのですか？

区：まず、各避難所運営管理協議会で決めてもらう必要があります。11 月に日仏学院でも訓練を行っていますので、大久保以外の地域で、多文化防災訓練を実施することも考えられます。

区：1 月にはオーストラリアから訪問がありました。オーストラリアの方々と主にネットワークのメンバーでディスカッションを行いました。急な訪問でしたが、ネットワークの日頃からの関係づくりがあったからこそ実現できたと思います。

H：団体として受けた事業でしたが、みなさんへの協力依頼も急になってしまいました。それにもかかわらず、ネットワークの方々や新宿区にご協力いただき、そのネットワークの軽さや新しい提案を受け入れる懐の深さに感謝しています。

I：本日初めてネットワークに参加させていただきました。少し活動を紹介させていただくと、自分たちは大学の地域教育系サークルの活動で子どもの遊びを企画し、実施しています。元々は、高田馬場にある小学校で放課後科目指導を行っていた人たちが立ち上げた団体です。その後、大久保小学校のPTAの方々と知り合ったのがきっかけで、19年度から新宿区教育委員会の居場所事業として、大久保小学校で子どもたちの居場所づくりを行うことになりました。

学校を舞台に屋台形式でお互いに自分の趣味や特技、遊びや作品を見せ合い、教えあうという企画を考えています。

区：「子どもの学習支援」事業との連携も考えられます。ネットワークの中で協力していければよいと考えています。

今後も分科会で具体的に検討、活動し、総会で報告をしていきます。分科会への参加希望、また、ご意見・ご提案などがあればご連絡ください。